



石海小学校だより

校訓 「あかるく なかよく かいっぱい」

太子町立石海小学校
NO.6 令和2年9月23日
発行者：校長 久保田 昌之

明るく前向きに進もう



9月1日(火)から2学期が始まりました。

始業式の校長講話の中で、金子みずぶさんの『次からつぎへ』の詩を紹介しました。コロナ禍の中では、何もできないと暗くなりがちですが、この詩を読むと、何事も前向きにとらえる気持ちになってきます。

1学期は、子どもたちが楽しみにしていた多くの行事がなくなりましたが、2学期は、感染症対策をとりながら、例年と形を変えて行うことができる学校行事を実施していきます。

次からつぎへ

月夜に影踏みしていると、
「もうおやすみ」と呼びにくる。
(もっとあそぶといいのになあ。)
けれどかへつてねてみると、
いろんな夢がみられるよ。

そしていい夢みてみると、
「さあ学校」とおこされる。
(学校がなければいいのになあ。)
けれど学校へ出てみると、
おつれがあるから、おもしろい。

みなで城取りしてると、
お鐘が教場へおしこめる。
(お鐘がなければいいのになあ。)
けれどお話ししていると、
それはやつぱりおもしろい。

ほかの子供もさうか知ら、
私のやうに、さうか知ら。

『金子みずぶ童謡全集』
(JULA 出版局より)

自分たちで塩作りをしたよ



9月4日(金)に、3年生は校外学習に行きました。まず、「赤穂市立海洋科学館」を訪れ、塩作り体験をしました。

土鍋に食塩濃度の高い水を入れ、かき混ぜながら煮詰めていきました。すると、見事な塩が出来上がりました。赤穂海浜公園でお弁当を食べ、みんなで遊んだ後、「そうめんの里」に向かいました。揖保乃糸の歴史やそうめんの製造過程を学習しました。充実した1日を過ごすことができ、みんな大満足でした。

☆ご協力ありがとうございました☆

8月22日(土)に、PTA奉仕作業を行いました。PTA役員や保護者の皆様のお陰で美しい学習環境になり、子どもたちは気持ちよく2学期を迎えることができました。厳しい暑さの中でしたが、ご支援・ご協力ありがとうございました。

たくましく成長した5年生

9月13日(日)から2泊3日の日程で、5年生はハチ高原へ自然学校に行きました。例年の4泊5日とくらべると短い期間でしたが、さまざまな自然体験を行うなかで、たくましく成長できたと思います。



読み聞かせ再始動

読み聞かせボランティアグループ「どんぐり」の皆様にご協力いただき、1・2年生の読み聞かせをしていただいています。新型コロナウイルス感染症のために、しばらく活動ができませんでしたが、マウスガードや密にならない児童の並び方を工夫して、再開していただきました。



間近に見る動物たちに大興奮

9月18日(金)に、1年生が校外学習で「姫路セントラルパーク」に行きました。バスの車窓から間近に見る肉食動物や草食動物に、みんな大興奮でした。ウォーキングサファリでは、ヒツジやクマに餌やりもしました。飼育係の方が、それぞれの動物の生態について分かりやすく説明してくださり、見たり聞いたり触れたりしながら楽しく学ぶことができました。



***** 教室の窓 *****

今年の自然学校は、例年よりも短い3日間で開催しました。ハチ高原の大自然の中で、テレビもゲームも、そして家族もいない中での生活でした。自然学校は、「自分のことは自分でする」といった自立をうながす大切な機会ですが、慣れない非日常の環境の中で、ある種の不便さも感じたかもしれません。しかし、不便だからこそ工夫し、協力し、折り合いをつけることを学んでくれたのではないかと思います。仲間に優しく声を掛けたり、そっと手助けをする姿も至る所で見られました。たいへん便利になった世の中ですが、子どもも大人も、不便さから学べるのがまだまだありそうです。 〈文責：教頭 三宅 優一〉